

ピコ水力発電 児童らが実験

福井の小学校跡

自然の水流を利用した小水力発電のうち、1キロワットより小さい「ピコ水力発電」の実証実験が15日、福井市中手町の小学校跡であつた。県の事業の一環で、地元のNPOや福井工大などが主催した。

県は中山間地の振興を目的に、今年度4カ所で実験する。同市中手町では、近

くの温泉施設や交流施設への送電、子どもの環境教育に活用する。

この日は、県内外の小学生ら25人が10ワット級の発電機を用いて水路に設置し、LED電球を点灯させて発電の仕

組みを学んだ。兵庫県川西市から参加した折戸優子さん(11)は「再生可能エネルギー」という言葉をよく聞く。水で電気が作れるなんてびっくり」と話していた。

(足立耕作)

用水路に発電機を設置する小学生ら＝福井市中手町

